

山形の冬が変わる。冬暖かく、夏涼しい快適なくらしへ



「やまぽっかの家」とは

やまぽっかの家 検索

最も寒い時期、就寝前に暖房を切っても翌朝の室温が10度を下回らない性能を持つとして県が認証した高気密・高断熱住宅

健康な体に！

- 家の中での熱中症のリスク軽減！
- 睡眠の質を改善
真冬の朝から薄着でも活動的！
- 家中一定室温で血圧が安定
元気で長生き！
- 風邪をひきにくく、
喘息が減り、子育てが快適！

家計にやさしい

- 光熱費が最大約70%削減！
- 冷暖房器具の交換費用も減少！

「やまぽっかの家」の3つのメリット



暮らしやすい

- 結露がないから掃除が楽
カビの心配がなく
空気もきれい
- 家中があたたかいので
コタツやファンヒーターが不要
- 騒音対策にも！



子育てから老後まで快適な空間で

出典：(一社)20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会「HEAT20設計ガイドブック
2021正しい住宅断熱化の作法」P.172～177

「やまぽっかの家」をお得に新築するチャンス！ 山形県が、あなたの家づくりを応援します

県産木材を一定量使用で 定額 **50万円 補助**
[募集期間] 令和8年11月13日(金)まで

太陽光発電設備や蓄電池、HEMS等の再エネ設備と組み合わせることで
最大 **200.2万円 補助**
[募集期間] 令和9年1月29日(金)まで

【申込窓口】各総合支庁建築課



+再エネ設備で



こんな取り組みをしています

やまぽっか×芸工大

「やまぽっかの家」を県民の皆さんに知っていただくため、学生の企画提案を取り入れた産学連携のブランディングによって「やまぽっかの家」の良さを発信しています。



やまぽっか
Instagram



やまぽっか
公式HP

見て体感してみよう

「やまぽっかの家」が集まった住宅展示場「やま・はび」・「カナリエタウン」で実際に建物を見学することができます。

【アクセス】
「やま・はび」：山形市落合町字二口62番6
「カナリエタウン」：東根市神町南一丁目13



叶理家

「やまぽっかの家」を建てるには

すまい情報センターのサイト「タテッカーナ」で、「やまぽっかの家」に関する情報を見ることができます。実績のある事業者も紹介しています。「やまぽっかの家」は、地域の風土を知り尽くした地元工務店の丁寧な施工により高い性能が確保されています。「タテッカーナ」では、施工の様子をYouTubeでも配信しています。



すまい情報センター
タテッカーナ

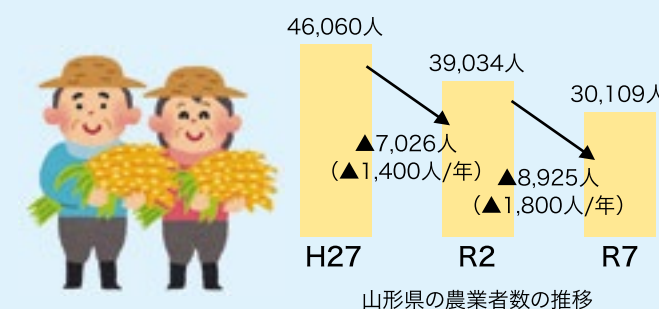
▶問い合わせ ◎ 建築住宅課 ☎023-630-2154

未来につなぐ農業へ！ 農業DXの推進

山形県の農業を未来につなぐため、「農業DX」を推進しています！

山形県の農業はどうなる？

山形県では、人口減少や高齢化が進み、生産者の減少が続いていて、農業の担い手不足が課題となっています。このため、より少ない人数でも品質の良い農産物をたくさん収穫でき、儲かる魅力的な農業に転換していく必要があります。



「農業DX」ってなに？

「農業DX」とは、センサーやドローン、AIなどのデジタル技術を活用して、農業のやり方や経営をより効率的なものに変えていく取り組みです。データを集めて分析することで、作業のムダを減らし、人手不足の解消や収穫量・品質の向上につなげることを目指すものです。



未来につなぐ農業に向けて

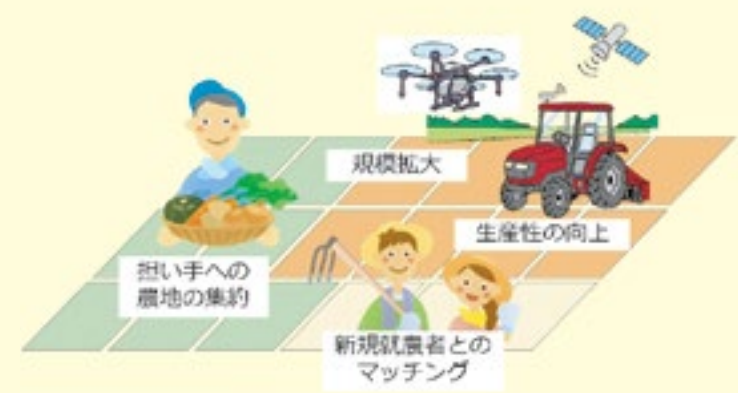
山形県では、デジタル技術を活用した農作業の効率化や、生産性の向上に向けた取り組みを進めています。さくらんぼでは、果実の選別・箱詰めなどは手作業が多く自動化・省力化が進んでいないため、作業の省力化や規模拡大を目的に、農業と工業が連携してスマート農業機器の開発を進めています。

水稻では、衛星画像と気象データから生育状況を推定し、生育に応じた、最適な肥料の量や散布時期、収穫適期などの栽培管理情報を提供するなど、広く現場で活用できる技術の確立を目指しています。

また、農地を継承するためには、農地の状況を正確に把握し伝えることが重要であるため、衛星データとAIを活用して、栽培している果樹の種類や立地条件もわかる農地情報の整備を目指しています。これにより、新たな農家が安心して農地を引き継ぐことができるようになります。



さくらんぼの自動選果マシンの開発



農業DXによる農地集約イメージ

▶問い合わせ ◎ 農業技術環境課 ☎023-630-2446